

SDGs・エスディージーズとはいうけれど…それって何?を
知って・語って・体験する体感型研修会

「若者と考える SDGs と暮らし」

～新しい暮らしと防災～

日時：2023年 1月29日(日) 13:00～16:00

会場：安佐北区総合福祉センター6階 大会議室

プログラム

1. 講演と発表

①広島文教大学 松原教授講演「大学生が取り組んでいるSDGs活動」

②広島文教大学 学生組織「SDGs研究会」による

・学生と一緒に考える「クイズで学ぶSDGsと暮らし」

・学生が考えた「安佐北区が住み続けられるまちであるために必要なこと」

2. 住み続けられるまちってどんな町

防災カードゲーム「あおぞら それいる!? カード」で考える

「あなたが一番大切なもの」

3. 「あなたのまちで、あなたができるSDGsって？」

定員：60名

(中学生以上・要事前申込)

持参物：筆記用具

参加費：無料

<申込・問い合わせ先>

◇若者活動サポートセンターあおぞら

E-mail: aozora.wakamono@gmail.com

◇可部公民館

☎TEL082-814-4031 あるいは来館で

共催：若者活動サポートセンターあおぞら

(広島市安佐北区可部4-10-8 ☎082-562-2451)

公益財団法人広島市文化財団 可部公民館

(広島市安佐北区可部3-19-22 ☎TEL082-814-4031)

後援：広島市安佐北区役所

広島文教大学

1. 講演と発表

◇ 広島文教大学 松原教授プロフィール

広島県立観音高校、愛媛大学法文学部卒、日本銀行福井事務所長などを経て、2016年より広島文教大学教授。著者に「広島の経済」（南々社）ほか

◇ 広島文教大学 学生組織「SDGs研究会」

広島文教大学で、SDGsに関する研究とSDGs活動を実践しています。昨年8月には「大学生が本気で考えた『広島SDGs戦略』（南々社）を発売しました。今回の発表では、

- ・SDGsって何？
- ・衣食住という身近な生活の中で、私たちにできるSDGsを学生と一緒にクイズで考えてみましょう。
- ・安佐北区がSDGs目標11「住み続けられるまち」であるために必要なことを考えます。



2. 住み続けられるまちってどんな町

『あおぞら “それいる!?” カード』を使って、住み続けられるまちについて考えます。

このカードは、あなたの命を災害から守るために、

あなたの暮らしに寄り添った“備蓄”を考え→そなえるためのカードゲームです。
キーワードは「我が家の備えに“それ、いる?”」。

命を守れるまち＝住み続けられるまちです。安佐北区ならきっとそうなる！

あなたの暮らしをゲームを通じて振り返りながら、楽しく考えていきます。

若者活動サポートセンターあおぞらが『あおぞら “それいる!?” カード』に込めた願い



若者活動サポートセンターあおぞらは、2014年8月の広島豪雨土砂災害で、広島市安佐北区の復興支援活動に携わった地域住民や若者、被災者が主体となって設立した団体です。現在は、被災経験から学んだ教訓を継承し減災につなげることが被災記憶の風化を防ぐことと捉え、防災教育や西日本豪雨災害などの被災者の心に寄り添うサロン活動を継続しています。

この『あおぞら “それいる!?” カード』は、サロン活動に集う被災者や支援者が語り合って作成しました。目的は、「暮らし方に寄り添った家の備え」を整えるきっかけをつくること。いつ誰がどこで被災するわからない時代です。けれども、どんな状況になっても、あなたとあなたの大切な人の命が守れるように、明日はあると踏ん張るきっかけに、このカードが役立つことを願っています。